

草津白根山の地殻変動*

Crustal deformation of Kusatsu-Shiranesan volcano

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

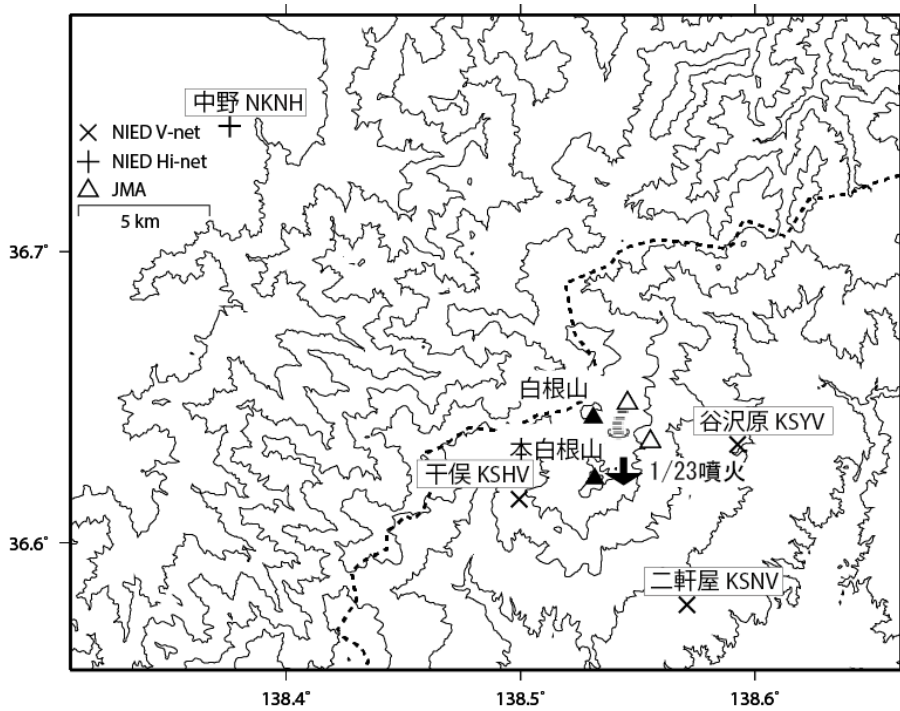
草津白根山の地殻変動について報告する。図1に、2018年1月23日10時02分の噴火地点も加えた観測点分布を示した。図2は傾斜計設置以降の変動記録、図3はGNSS基線長解析結果である。

2018年4月下旬頃より、KSHVとKSNV間の基線長に伸びが認められる。しかしながら、他基線や傾斜計の記録には、明瞭な変動は認められないので、火山活動以外の要因に関わる変動である可能性がある。なお、干俣観測点（KSHV）の傾斜計は、2017年中頃から北下がり・西下がり（北西方向下がり）の傾向が見えるが、他の2点の傾斜計が変動していないことから降雨の影響と考えられる。

* 2018年7月24日受付

** 棚田俊收, 上田英樹, 藤田英輔, 長井雅史

Toshikazu Tanada, Hideki Ueda, Eisuke Fujita, Masashi Nagai



千侯 (KSHV) 地震計 (短周期・広帯域)、傾斜計、気圧計、温度計、雨量計、GNSS
 二軒屋 (KSNV) 地震計 (短周期・広帯域)、傾斜計、気圧計、温度計、雨量計、GNSS
 谷沢原 (KSYV) 地震計 (短周期・広帯域)、傾斜計、気圧計、温度計、雨量計、GNSS
 中野 (NKNH) Hi-net, KiK-net

図1 草津白根山のV-net観測点分布図

この地図は、国土地理院発行の数値地図10mメッシュ(標高)を使用した。

Fig.1 Station map around Kusatsu-Shiranesan.

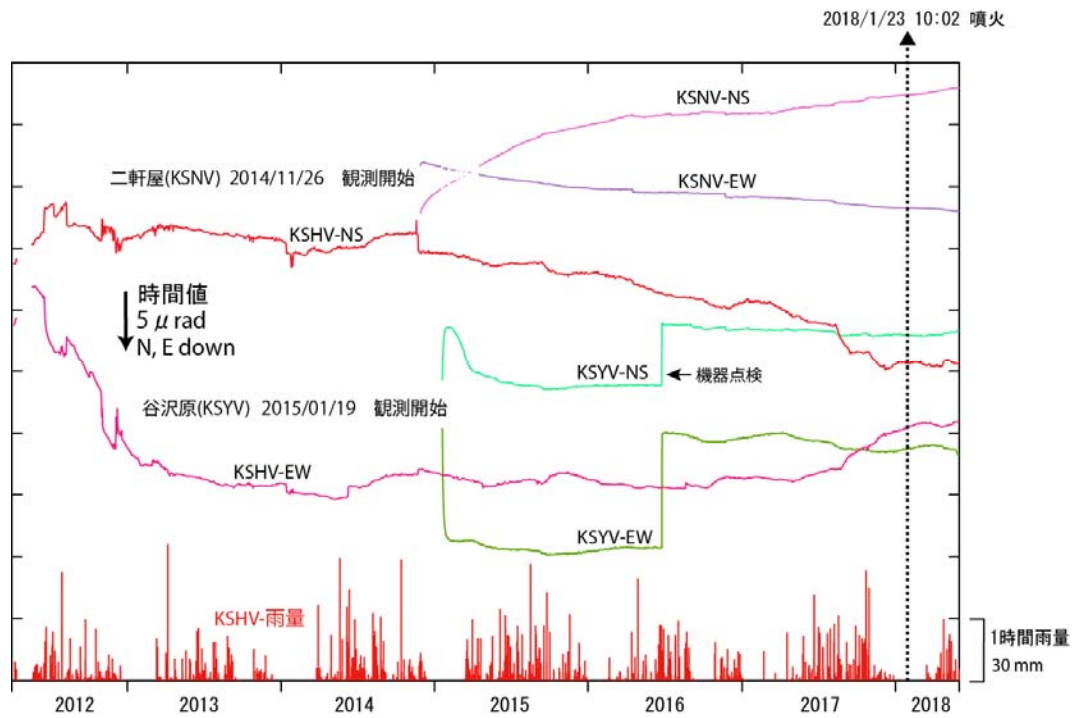


図2 草津白根山の傾斜変動(2012/4/1~2018/05/31)

Fig. 2 Tilt changes observed by the V-net (2012/4/1-2018/5/31). Hourly data are plotted.

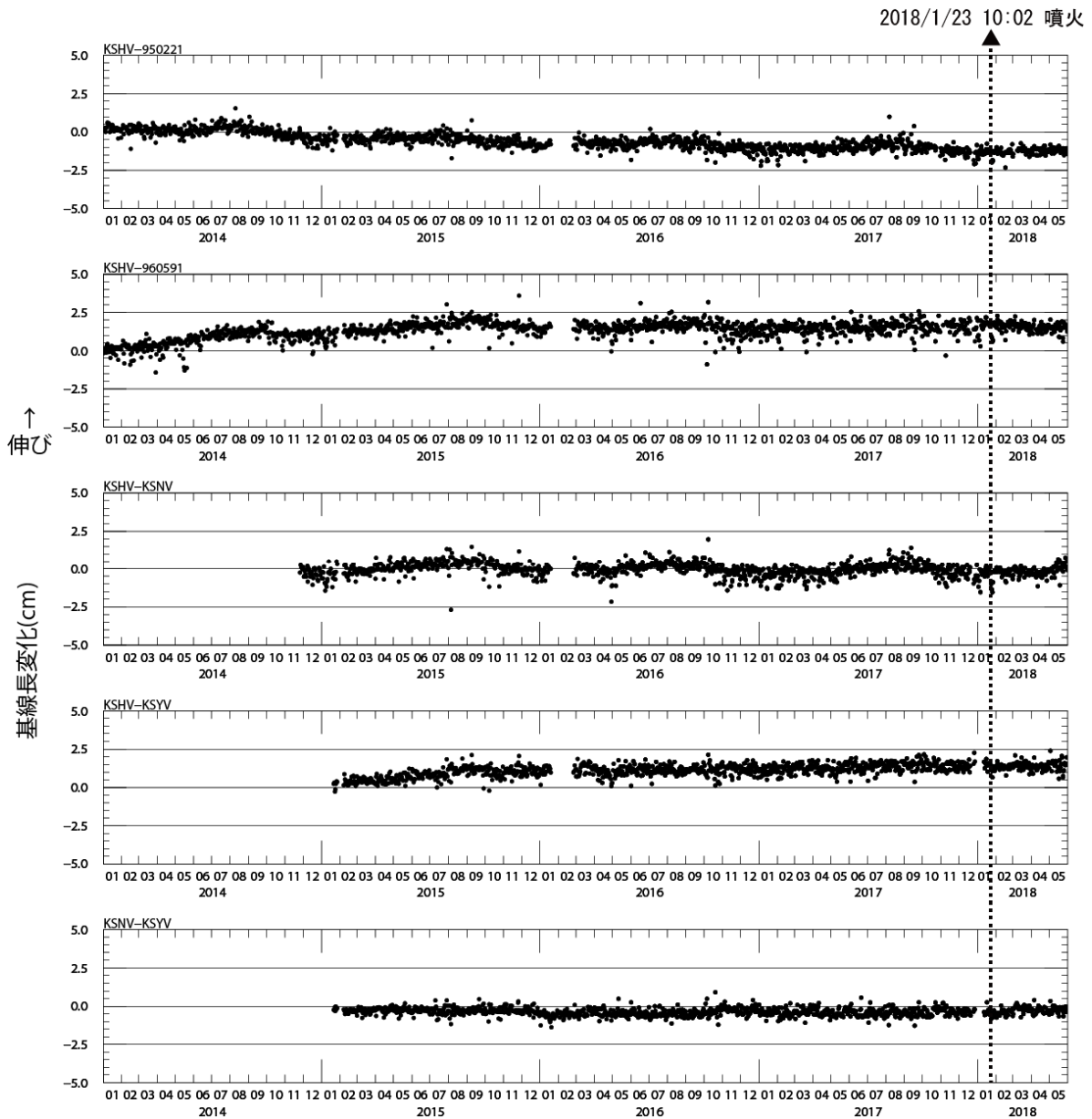


図3 防災科研3観測点と、KSHV-GEONET草津観測点(0591)、KSHV-GEONET孺恋観測点(0221)の基線長変化(2014/1/1~2018/5/31)

Fig.3 Baseline length change between GNSS stations at Kusatsu-Shiranesan (2014/1/1~2018/5/31) .

表1 GNSS観測履歴

観測点番号	観測点名	図中記号	日付	保守内容
	草津白根山干俣 (KSHV)		2012/3/26	2周波観測開始
			2016/1/20~2/13	機器異常による欠測
	草津白根山二軒屋 (KSNV)		2014/11/25	2周波観測開始
			2015/1/15~ 2015/4/17	通信回線不調
	草津白根山谷沢原 (KSYV)		2015/1/19	2周波観測開始
			2017/12/29~ 2018/1/12	機器異常による欠測